

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



成年企画
ワンだふるファミリー

～山内優菜さんにおんぶされる
愛犬ギンくん～
(紹介は14ページ)

2018.5
No.
533

70年の糧を さらなる農業発展に

第70回JAところ通常総会



常呂町農業協同組合の第70回通常総会が4月13日、常呂町多目的研修センターで組合員171人（正組合員250人中／本人114人、委任24人、書面33人）出席のもと開かれ、全議案が原案通り承認されました。

総会は9時15分に開会宣言が行われ、その後、出席者全員でJA綱領を朗唱し始まりました。

開会にあたり川上和則組合長は、昨年の作況状況などに触れ「平成29年の本町農業は好天にも恵まれ播種作業は順調に進みましたが、6月には



農業情勢などを報告する小野寺俊幸会長



開会挨拶を述べる川上組合長

集中豪雨や雨の日が多く、平年の3倍超えとなる降水量となりました。また8月には低温となり、9月中旬以降は台風による強風や降雹もあり不安定な気象となりました。このような中、組合員の皆様の営農努力の結果、本年度農畜産物取扱高は計画対比107%となりました。主な事業の実績ですが、信用事業は組合員を始め地域利用者のご協力のもと、年度末の貯金残高は計画対比100%、共済事業は組合員各位のご協力と広域推進の結果の展開により新契約高は計画対比229%。購買事業は系統利用の有利性を発揮すると共に組合員の事業結集により供給高は計画対比108%の実績となりました。以上の経過から当期剰余金1億円を計上できましたことは、組合員各位のJAへの結集の



JAグループを代表し、祝辞を述べるJA共済連北海道の鹿野北見支所長



祝辞を述べる辻北見市長



祝辞を述べる船橋道議会議員



祝辞を述べる塚本道議会議員



特別決議(案)を
読み上げる小野寺理事



監査報告を行う
今橋正弘代表監事



議長就任挨拶を述べる関根さん(左)、所さん(右)

賜物」と感謝の言葉を述べました。

また農協改革について「平成31年に向けてJA北海道中央会が連合会へと組織変更となり、新たな監査機能の導入による内部統制強化への準備が本格化し、事業譲渡も含めた信用事業のあり方について組織討議を進めて参ります」と述べた上で「本年は、JAが設立されてから70年を迎える記念すべき年であります。これからも先人たちが築き上げた大地を培い、組合員の皆様に安全・安心な食料生産と地域社会へ貢献していきたいと考えます」と挨拶しました。



口蹄疫について質疑
を行う米山忠雄さん
(岐阜地区)



水害対策について質疑
を行う小野寺靖さん
(福山地区)

引き続き、来賓を代表し辻直孝北見市長、JA共済連北海道北見支所の鹿野信男支所長、北海道議会の船橋賢二議員、塚本敏一議員より祝辞を受けた後、議長に関根隆博さん(富丘地区)、副議長にJAところ青年部の所尚玄部長を選任し、議案審議に入りました。

議案は、議案第1号の定款の一部改正を始めに、平成29年度事業報告と決算報告、さらに30年度の事業計画設定では、常呂町農業振興計画の実践と常呂町農協経営計画を基本とした各事業計画の策定、役員の選任など13議案が提出されました。



種芋確保の要請を行う
林健志さん(岐阜地区)

質疑では、シストセンチュウによる種芋の作付の減少傾向についての質問に川上組合長は、「全道各地で種芋作付が減少しており、種芋確保が大変である。農協としても新規種芋耕作者を確保し、他の

農協との結びつきを強化し、今後とも万全に確保していきたい」と理解を求め、提出された全ての議案が原案通り決定されました。

その後、JA北海道大会の決議事項の着実な実践に関する特別決議(案)を小野寺亮二理事が力強く読み上げ、満場一致で採択されました。最後に川上組合長の閉会挨拶の後、12時5分に閉会宣言し全ての日程を終了しました。

なお、役員の任期満了に伴う選任で3名の理事が退任されましたが、長年のご功績にお礼申し上げると共に、新しく就任された理事3名と監事



役員を退任する
久世和徳理事、猪野間信夫理事、小野寺理事(左から)



新役員に選任された小原啓人監事、鈴木洋平理事、石澤彰理事、林孝広理事(左から)



第1号議案は挙手で承認されました

1名の皆様には、今後の農協運営にご尽力を賜りたいと思います。

名誉組合員称号授与式と

功労者表彰式開く

J Aところは、創立70周年の記念すべき年に名誉組合員制度を創設し、理事に12年、代表理事組合長12年の永きに亘り、農協経営にご尽力された久世篤史元組合長に対しまして4月13日に初めての名誉組合員の称号を贈り、その栄誉を称えました。
その功績につきまして紹介いたします。

久世元組合長は昭和28年高校卒業と同時に家業の農業に従事し、持ち前の研究心と指導力を発揮し、地域農業の若きリーダーとして頭角を現し、昭和42年には農協青年部長、昭和51年からは常呂町農

協役員として農村活動に傾注し、昭和63年には代表理事組合長として平成12年まで4期にわたり活躍されました。

青年時代には、本町が発祥地である甜菜の育苗ボットによる試験栽培を同志とともに取り組み、現在の北海道甜菜の振興に大きく寄与されました。

名誉組合員称号を授与後、お礼の言葉を述べる久世元組合長

農協役員に就任してからは常呂町で生産されているホタテ貝殻を水産有機物として捉え、土壌改良材としての開発普及に取り組みました。農協組合長就任

後は、当時伸び悩んでいた本町農業者の所得向上を図るため畑作3品を中心とした農業経営に野菜を組み入れ、その対応として通年対応の冷蔵施設の新設、加工馬鈴薯貯蔵庫、玉葱選果施設などの体制整備を図りました。

また、土地改良事業の分野でも明渠、暗渠排水、客土事業などに力を注ぎ、中でも雨に弱い本町農業を認識し排水愛護組合長として力量を発揮し生産基盤作りに尽力されました。

農協運営にあたっては、管内に先駆けて不採算部門であったAコープ、でん粉製造費削減のための澱粉工場の統廃合の実施など次々と合理化を進める一方、各種引当金の計画的な引当、内部留保の確保など緻密な経営手腕を遺憾なく発揮し平成12年に組合長を退任されるまで24年もの長きにわたり農協経営の基盤強化に努められました。

功労受賞者略歴

(敬称略)

紙面の都合から略歴のみのご紹介となりましたことをご了承願います。



表彰された皆さん(左から)。久世ご夫妻、馬淵さん、森澤さん、安藤さん、古舘さん

馬 淵 茂 (就任期間 4期12年)

平成15年4月～平成18年4月 理事
平成18年4月～平成26年4月 総務担当委員長
平成26年4月～平成27年4月 管理担当委員長
平成26年4月～平成27年4月 信用担当委員長

森 澤 修 一 (就任期間 4期12年)

平成15年4月～平成27年4月 理事
理事会の推薦により就かれた他の公職
平成18年6月～平成21年3月 北見市常呂農業委員
平成18年6月～平成20年3月 斜網地区農業共済組合 理事

安 藤 憲 彦 (就任期間 3期9年)

平成18年4月～平成21年4月 理事
平成21年4月～平成26年4月 業務担当委員長
平成26年4月～平成27年4月 生産担当委員長

古 舘 晋 (就任期間 3期9年)

平成18年4月～平成21年4月 監事
平成21年4月～平成27年4月 代表監事

J A ところ創立70周年記念講演

農政に“忖度”はいらない

～対話型農政とネットワークの時代～



プロフィール

原田 英男氏

元農林水産省畜産部長
現一般社団法人
畜産環境整備機構
副理事長

1956年、東京都生まれ。北海道に憧れて北海道大学入学。農学部農学科卒。1980年農林水産省入省。畜産畑を中心に転々とする。牛肉自由化、BSE、口蹄疫、鳥インフルエンザ、原発事故など様々な災厄を経験し、今日に至る。宮崎での口蹄疫以降、実名でツイッターを利用し情報発信。今や絶滅危惧種となった「ツイッター官僚」の生き残り。東京電力福島原発事故後の風評被害などに対応して、「霞ヶ関有志の会」や「ガイガーカウンターミーティング」などで活動。日本のチーズと畜産物、ワインをこよなく愛し、自ら率先して宣伝活動を行う。

J A ところは4月13日の通
常総会終了後、常呂町多目的
センター大ホールで、創立70
周年を記念して講演会を開催
し、多くの組合員が受講しま
した。

講師には、元農林水産省生
産局畜産部長で現在は、一般
社団法人畜産環境整備機構の
原田英男副理事長を招き、『農
政に“忖度”はいらない』対
話型農政とネットワークの時
代』というテーマで講演が始
まりました。

農林水産省入省後、長年畜
産畑を歩み、農林水産省では
自他ともに認める「最も出張
の多い男」として、全国の畜

産地を訪れた経験を持つ原田
副理事長は、前半、霞ヶ関の
仕事の作法などを紹介、農業
政策では霞ヶ関と現場とでな
ぜギャップが生じるのか、補
助事業のしくみ、酪農では指
定団体制度などを例に挙げ、詳
しくお話ししていただきました。
中盤では、マスコミの情報
操作でバターが品切れになっ
たこと、特ダネで事件は報道
するが、平常となったその後
を報道しないマスコミ対応な
ど、一般ではあまり知られな
い裏側の情報などの講話や、
自身の専門である酪農につい
ての今までと今後の展望、畜
産クラスター事業の情報を提

供していただきました。
講演は1時間30分に及びま
したが、途中随所にジョーク
を挟み、参加者からドット笑
いがあふれるなど、終始和や
かな時間となりました。

講演を聞いた受講者の皆さ
んからは「とっても聞きやす
かった」「畑作分野の講演を
聞きたかった」など感想が寄
せられました。



事例を交えながらの講演でした



参加者の目を引くスライドでした

高品質な南瓜生産を目指し

常呂町南瓜生産組合

常呂町南瓜生産組合（高橋光明組合長）は4月3日、JA会議室で第5回常呂町南瓜生産組合通常総会を開き、組合員9人が出席しました。開会にあたり、高橋組合長が挨拶を述べた後、来賓を代表し当JAの川上和則組合長が祝辞を述べました。その後、高橋組合長が議長



総会に出席した皆さん



開会の挨拶を述べる高橋組合長

を兼務し、議事進行が行われ、提出された議案は満場一致で原案通り可決決定されました。平成29年度は適期収穫、防除の徹底、キュアリング室活用による保管により、歩留まりが改善し、高品質な原料を供給することができました。平成30年度もより一層高品質な南瓜の生産や面積増に努めて参りますので、組合員皆様方のご協力をお願い申し上げます。

なお、本年は役員改選期にあたり、次の方々が役員に選任されました。（敬称略）

組合長 植松 正仁
副組合長 堀田 雅仁
副組合長 土田 竜也

生産者の声を政府・国会に

常呂町農民同盟

常呂町農民同盟は4月5日、JA会議室で第70回通常総会を開き、盟友17人が出席しました。

梅田俊則委員長は「昨年度は、自由貿易交渉の波に押し流される一年となった。TPP11・EPA交渉など、国内農業への甚大な影響が危惧されている。今後も同盟は、道農連及び地区連盟と連携し、批准断固反対の意思を政府・国会に届ける考えです」と開会の挨拶を述べました。

引き続き、来賓のJAとくろ川上組合長、北見市の辻孝宗常呂自治会長、北見地区農民連盟の増田俊司副委員長の3人の方から祝辞を頂き、



開会の挨拶を述べる梅田委員長

川上組合長は「JR貨物は、たまねぎ列車の運賃を値上げするとしている。作物の価格が上がり、収入が減っていく現状を政府に訴えていかなければならない。農民同盟の活動によって、その声を中央に届けて頂きたい」と激励の言葉を述べられました。

また来賓として北見市常呂総合支所の工藤豊産業課長、所管範農務係長も同席しました。

総会は、梅田委員長が議長を兼務し、平成29年度の運動経過報告と収支決算報告、平成30年度の運動方針及び収支予算案が審議された後、全議案とも原案通り承認されました。また、本年は役員改選期にあたり、田房和彦選考委員長より選考委員会の結果が報告され、新役員が次の通り選任されました。（敬称略）

委員長 梅田 俊則（留）
副委員長 中島 稔（留）
書記長 伊藤 憲男（留）
監事 石田 雄三（留）
白石 建蔵（新）



総会に出席した盟友の皆さん

活動成果を地域に広める

―常呂町4Hクラブ―

常呂町4Hクラブ（羽石遼祐会長）は3月14日、第50回通常総会をJA会議室で開き、クラブ員19人が出席しました。羽石会長の開会挨拶で、「昨



開会挨拶を述べる
羽石会長

年は大きなイベントである設立50周年記念式典を多くの関係機関、そして当クラブ員の皆さんに支えられ、開催することができたこと深く感謝致します。本日の総会では、今年度取り組んだ事業の反省と来年度の活動に向けて積極的に発言しましょう」と呼び掛けました。

その後、来賓の当JAの川上組合長と北見市の辻常呂自治区長、網走農業改良普及セ

ンターの黒丸隆太郎次長から祝辞が述べられた後、議案審議に入りました。

羽石会長が議長を兼務して議案審議に入り、議案第1号から8号まで原案通り可決されました。さらに、本年度も引き続き地域活動に積極的に参加する他、プロジェクト活動で得られた結果を地域に広めていくことを確認し、閉会しました。

また、任期満了に伴う役員

改選が行われ、新役員が承認されました。

新会長に選任された中島賢人さんは「皆様の協力のもと、新しいメンバーと共にやっていきたいと思えます。楽しく和気あいあいとした4H活動を心掛けていきたいと思えますのでよろしくお願い致します」と力強くクラブ員に呼び掛けました。

また新役員は次の通り

（敬称略）

○会長 中島 賢人

○副会長（兼書記）

○会計 田鎖 義隆
山本 将大

活気あふれるクラブを目指し

新規就農者激励会

営主氏名

（敬称略、（ ）内はJA経

その後の懇親会では、クラブ員や関係者の自己紹介後、「叩いてかぶってジャンケンポン」のレクリエーションが行われ交流を深めました。

激励会終了後、環境美化運動の一環として栄浦地区でクラブ員全員でゴミ拾いを行いました。

【4Hクラブ新規加入者】
・井川 智博（本人） 岐阜
・小野寺 勇太（婿） 福山
（敬称略、（ ）内はJA経

常呂町4Hクラブ（中島賢人会長）は4月9日、第41回新規就農者激励会をJA会議室で開き、新規就農者2人とクラブ員18人、さらに来賓の当JAの川上組合長、北見市の辻常呂自治区長、網走農業改良普及センターの草間譲次長、関係者4人が出席しまし

4Hクラブ綱領朗唱後、来賓の川上組合長は「4Hクラブは農業の基礎を学び色々な経験ができる組織です。これからの常呂町農業の発展には若い世代の活気あふれる力が必要なので、他地区との交流を行い、知識を吸収していただいたい」との挨拶がありました。



新しく4Hクラブに加入した
井川さん、小野寺さん（左から）



激励会終了後、クラブ員全員でゴミ拾いをしました

第50回常呂町4Hクラブ通常総会



○試験圃場長 田房 壮太
○学習部長 馬淵 修

選任された中島さん、田鎖さん、山本さん、馬淵さん、田房さん（左から）

土づくりの基本を学ぶ!!

本町の畑地土壌は、長年の火山灰客土事業により化学性の低下を始め、本来の土壌特性が大きく変化し、従来の本町土壌に対する施肥法に課題がありました。

JAとこころ（川上和則組合長）はこの課題解決に向けた「土壌肥料講習会」を4月4日、JA会議室で開き、組合員など約60人が出席しました。

講師に帯広畜産大学の木下林太郎特任助教を招き、木下助教は、土壌診断における交換性陽イオン（CEC）のバランスをもとに講演し、土の組成や陽イオンについても説明され、土壌診断の基礎をなす交換容量を中心に講話をいただきました。

木下助教は、出席者と質疑のキャッチボールをしながらの



常呂町の土壌特性を説明する木下助教



質疑のキャッチボールをしながら進行していききました

講習を進め、若い組合員の皆さんから多くの質問が出され、関心の高さが示されました。今後同大学の講師を招いた講習会を継続し、夏季には土壌断面を確認した現地研修会と、来春には土壌改良後のN・P・Kの施肥設計講習を予定し、3回のシリーズを計画しています。

JAとこころは3月27日、本町のいんにく耕作部会の会員を対象に、初めてのいんにく販売状況から技術情報、さらに地理的表示制度の情報も含めた総合学習会をJA会議室で開きました。

講師は、網走農業改良普及センターと当JAの職員など5人が務めました。

本学習会は昨年、同部会が20周年の節目を迎えた経過を踏まえ、本町のいんにくの歴

いんにくブランド化とGI取得

史的背景も含んだ内容や販売及び品質状況、さらに昨年導入されたハウス乾燥機械のポイントなど様々な視点からの学習会となり、部会員は熱心に受講されました。

学習会の最後に、当JAの事業計画にも組まれている「地理的表示制度（GI）」について説明し、JAと部会が一体となって取得に向けた活動が行なわれる予定です。

玉葱の高品質生産に向けて

常呂町玉葱振興会（泉直喜会長）と常呂町玉葱振興会青年部（今橋賢一部会長）は、玉葱の育苗調査及び栽培技術講習会を4月10日に開催しました。

育苗調査の方では、青年部が中心となり3グループに分かれ、町内3カ所の育苗ハウスで各品種の播種日・発芽率・草丈・葉数の調査を行いました。2・3月の気温が低かつ

たこともあり前年度より発芽率・草丈・葉数が若干下回った結果となりましたが、順調に生育が推移しております。

調査終了後には栽培技術講習会が開かれ、普及センター・田中理恵専門主任から、育苗調査の講評と儲かる玉葱作りのポイントなどについての講習が行われました。田中専門主任の説明を熱心に聞いた会員の皆さんは積極的に質問する



プロジェクターを使い説明が行われました



事例を交えながら説明が行われました

など、平成30年産の高品質玉葱の作付に向けて有意義な調査及び講習会となりました。



● 厳粛な空気の中、調印式が行われました



● 家族経営協定合同調印式に参加した皆さん

家族の話し合いで 円満な家族経営を

― 家族経営協定合同調印式で4組が調印 ―

J Aところは4月16日、J A会議室で、家族経営協定合同調印式を開き、猪野尚人さん、久世和徳さん、林健志さん、近藤圭介さんの4組の家族が、ところオリジナル様式の『ところ型家族経営協定書』に調印、締結しました。

家族経営協定は、家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

調印式では、川上組合長のほか、北見市辻孝宗常呂自治区長、網走農業改良普及センター上館伸幸所長、北見市第一農業委員会榎尾英司会長が同席し、各家族の調印に立ち会いました。

式典では川上組合長の挨拶の他、各立会者から「意欲と希望をもって農業を明るく」と激励の言葉が贈られました。締結した家族からは「家族みんなで協力し合えるような営農をしていきたい」と笑顔で話しました。

管理作業のポイント教わる

― 第1回移動農事相談 ―

J Aところは、本年度第1

回目の移動農事相談を3月22日、23日、30日の3日間、各地区8会場で開催しました。

今回の移動農事相談では、秋まき小麦の生育目標・追肥の目安や玉葱の苗床で見られる

病害や障害の発生要因・対策など。さらに5月下旬までの

各農産物の管理作業のポイントなどを重点的に網走農業改良普及センター・J Aから説

明を行いました。

また、農作業事故が起きる要因と事故防止に向けた機械の改良、作業環境の改善、安全な行動を行うよう呼び掛け

しました。

今回の移動農事相談は各地区全体で116戸の参加で79

%の参加率となりました。

5月下旬に第2回を予定しておりますので夫婦・親子同伴での参加をお願い致します。



● 説明を真剣に聞く組合員の皆さん(岐阜地区)

オホーツク優良農村青年賞受賞

オホーツク総合振興局が管内の農業青年を対象に毎年表彰を行っている「優良農村青年」に本町から共立地区の羽石遼祐さんが今年度受賞され、4月9日にオホーツク農業委員会連合会会長から表彰盾が贈呈されました。

オホーツク総合振興局では、管内の農業青年を対象に、過去3年以上農業の担い手として従事し、農業技術の普及・推進・グループ活動に対して指導力のある農業青年を表彰しているものです。

今後とも地域のリーダーとして、更なる活躍を期待致します。



● 受賞された共立地区の羽石さん



3月末から「ファーマーズハウス うえる」に入居している農業研修生をご紹介します。

もり わき
森脇 さゆりさん (33)
出身地：広島県
趣味：三味線

女性農業研修生紹介



● 農業研修に応募したきっかけは？
私の祖父母が農業をされており、少し前まで手伝っていたのですが、JAのサイトを見ていた時に、農業研修体験の募集を見て、興味が湧いたので応募しました。

● 常呂町の印象は？
冬はとても寒くて驚きました。また、農業と漁業が盛んな町で、平昌オリンピックで話題になったカーリングの町！という印象を持ちました。

● これからの意気込み
一生懸命頑張りますので皆さん宜しくお願いします。

※各地域の研修先でお会いの際は、温かい声を掛けて下さいます様お願い致します。

No.10

GAPってなに？

● 第10回はGAPにおける「農作業事故を防ぐ」について紹介します。

ある日

なんだって!?
農業新聞によると
農業の死亡事故件数は
交通事故の5倍、
建設業の3倍!?
農作業事故で
年間350人も
亡くなっている
なんて...

ギャッ

1 JAの花田くん
今日は春の農作業安全について啓発活動を行っています!

2 GAPの労働安全の取り組みで安全対策を考えてみませんか?

3 死亡・重傷事故一件が発生する背景には「ヒヤリ・ハット」が300件以上あると言われているんです。
300件も!?

4 「安全に勝る経営はなし」よし!!家族のためにもGAPで安全対策はじめてみるか!!

5 愛を込めて、だからな

↑頭上注意
また、万一の事故に備えて救急箱を用意し、作業場の目につくところに対応マニュアルを掲示して働く人に周知しています。

↓足元注意

◆春の農作業安全運動実施中!◆

トラクターなど乗用機械からの転落事故が多く発生しています。事故を防ぐ安全対策を実施しましょう!
★面倒がらずヘルメットを着用しよう! ★機械から降りるときは後ろ向きで! ★周辺で作業するときは、声を掛け合いましょう。
適度な休息を取り、安全第一を心がけましょう!

タキイ研修を活かし 常呂町農業に貢献



生産部販売課
山田 瞬也

タキイ研究農場付属園芸専門学校では、根菜類や葉菜類や花卉など様々な作物を栽培しており、それらの作物を栽培することが授業だった。

の、幅広い視野から学ぶことが出来て、様々な方向から考え抜く力が身に付きました。北海道とは違い、夏場は最高気温が40度近くにもなることがあり、熱中症や夏バテになる仲間もいました。そんな時も仲間同士で助け合い、協力をして何とか乗り越えられ、仲間の大切さにも気づきました。

ランダムで部屋チェックが行われ、部屋がしっかりと掃除されて整理整頓されているか、貴重品の引き出しの力加は閉めてあるか、また、しっかりと隠されているかと気が抜けない毎日でした。そんな環境の中でも、毎日を楽しんで過ごす為にやる時はやる、また遊ぶ時は、遊ぶといった感じで仲間と共に充実した毎日を経験することが出来ました。

この1年間の感想としては、私自身実際に作物を栽培した経験がなく無知だったのですが、栽培のメカニズムを目で見、実際に自分の手で

私は、平成29年4月に入組し、1年間滋賀県にあるタキイ研究農場付属園芸専門学校に学びに行かせていただいたいました。そして今年の春に無事卒業し、JAところに復職することになりました。

タキイ研究農場付属園芸専門学校は、全国各地から生徒が集まり、学校が全寮制だったので、1つ屋根の下で1年間共に過ごして参りました。学校では実習・勉強・寮生活を3本の柱としていてそれに基づいて1年間学ばせていただけてきました。



● 厳しい実習の後のひととき



● 同じ班の仲間たち(後列右が山田職員)

で行ったことで自分自身成長出来たこと。また、全国各地に同じ志を持った仲間が出来たことがとても良かったのではないかと思います。

今回この様な貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

今後につきましては、タキイ研究農場付属園芸専門学校で経験したこと、学んだことを忘れず、JA職員として常呂町の農業に少しでも貢献出来る様に精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



い だ ゆう き
井田 悠稀 平成2年5月生(27歳)

- ①常呂町
- ②北翔大学
- ③映画鑑賞・旅行
- ④初めての業種で分からないことばかりかと思いますが、やっと常呂町へ帰って来ることができたため、町民の方々とコミュニケーションを取り、皆さまがより快適な生活を送れるよう努めて参りますので、よろしくお願いします。
- ⑤小学校3年生から大学卒業まで13年間、陸上競技を続けてきたため、体力には自信があり、目標に向かって努力は惜しみません。まだ未熟なところは多々ありますが、大好きな常呂町のために頑張りますので宜しくお願いします。



お が た りゅう と
尾形 竜都 平成11年1月生(19歳)

- ①網走市
- ②北海道農業協同組合学校
- ③サッカー、映画鑑賞
- ④入組後は仕事を早く覚え、職員や組合員の方々と良い信頼関係を築き、職場に慣れることをまず頑張りたいと思います。
- ⑤私は、サッカーを小学校1年生から高校3年生までやっており、厳しい練習を乗り越えることで得た忍耐力やコミュニケーション能力があります。

新採用 職員紹介

皆さん
よろしくお願いします!

- ①出身地 ②最終出身校 ③趣味・特技
- ④今後の抱負 ⑤自己PR



さ と う なな せ
佐藤 七星 平成11年6月生(18歳)

- ①網走市
- ②北海道網走桂陽高等学校
- ③バレエ・習字・音楽を聴くこと
- ④まだまだわからないことがありますが、1日でも早く仕事を覚えすばやく正確にできる様に頑張ります。
- ⑤私の強みは責任感が強いところです。なので責任感を強く持ち、一生懸命頑張ります。これからよろしくお願いします。

ステキな暮らしを提案します

家の光

年6回
お役立ち別冊付録付き

定価(税込)
●普通月号 617円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 906円
●家計簿付き12月号 1,008円

お申し込みは
お近くのJAへ

JAグループ 家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL 03-3266-9039 <http://www.jienohikari.net>

家の光 2月号
サケとカリフラワーの南蛮漬け
夕飯作りもう悩まない!
チョコチャンククッキー
おやつも安心カンタン手作り!
家庭園芸
家庭菜園も楽しく失敗なし!
お楽しみ連載記事!

「子供の頃から」
生産部 施設コントラ課 小山 利美
恥ずかしい話ですが、私はこの年齢になっても、子供の頃からずっとプラモデルを作ったりして遊んでいます。

今でも気に入った物を見つけた時は購入して、暇な時間をみつけては少しずつコツコツと組み立て、完成するのを楽しみながら制作しています。今のプラモデルは私が子供の頃に作っていた物と違い、すぐリアルに動き、塗装もキレイで感動しました。

今では私が組み立てている所を見ていた息子(小5)が自分も作ってみたいと言います。一緒に組み立てたりして息子も楽しいと言っています。これから息子と一緒に楽しみながら作りたいと思います。



小山職員お気に入りのプラモデル

ちやと発信 JAマン コーナー 発信No.52

JA職員からのオススメを
ジャンルにこだわらずに
紹介するコーナーです。

行事予定表

5月1日(火)~5月31日(木)

5月 3日(木)

憲法記念日

5月 4日(金)

みどりの日

5月 5日(土)

こどもの日

閉組日

5月12日(土)

閉組日

5月19日(土)

閉組日

5月21日(月)

職員研修旅行

第1班~25日

5月26日(土)

閉組日

5月27日(日)

農休日

5月28日(月)

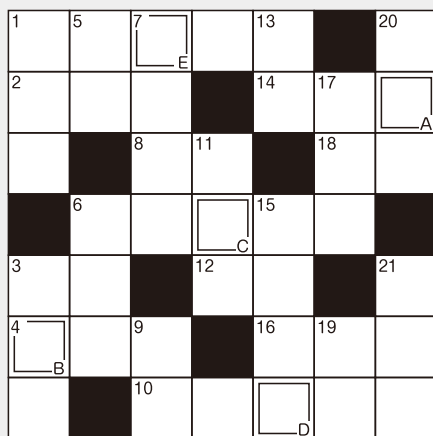
第4回定例理事会

第2回理事会報告

1. 第70回通常総会の招集について
原案の通り招集することで承認されました。
2. 名誉組合員の決定について
原案の通り久世篤史氏を名誉組合員に決定し、総会の場において名誉組合員の称号を授与することで承認されました。
3. 退任役員の表彰について
原案の通り表彰することを決定し、総会の場において表彰することで承認されました。
4. 組合員の出資金譲渡について
原案の通り出資金譲渡について承認されました。
5. 貸付金利率の改正について
原案の通り改正することで承認されました。
6. 第1回地区別懇談会の開催結果について
懇談会に出された意見・要望事項について審議されました。
7. 労働保険事務組合手数料の設定について
原案の通り設定することで承認されました。
8. ロコ・ソラーレへの祝儀の支出について
原案の通り祝儀を支出することで承認されました。

〈報告事項〉

1. 平成29年度決算監査報告について
2. 内部監査報告について
3. 自己査定結果報告について
4. 「JAバンク基本方針」の変更について
5. 職員研修旅行の実施について
6. 職員の採用について
7. 農業委員会開催報告について



Crossword Puzzle

~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA~ の順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょう?

タテのカギ

- ① ここには〇〇〇・カ点・作用点があります
- ② 5月5日は〇〇〇の日。国民の祝日です
- ③ 父や母の兄弟です
- ④ 川の流れの急な所
- ⑤ 別名は虞美人草、ポピー
- ⑥ 日本庭園だとコイが泳いでいることも
- ⑦ 刃物で紙に描きます
- ⑧ 生物や化学を学ぶ教科
- ⑨ 無地ではない衣服
- ⑩ バイオリンや笛のこと
- ⑪ 鳥よけに張ることもあります
- ⑫ 唱歌「春の小川」の歌詞に出てくる花
- ⑬ レイシとも呼ばれる果物

ヨコのカギ

- ① 潮の引いた浜で貝を探します
- ② マジシャンが披露するもの
- ③ ストーフ人の著書「アンクル・トムの〇〇〇」
- ④ 輪のある惑星として知られています
- ⑤ 急いで記した文字のこと
- ⑥ 野球部の監督が選手に〇〇を飛ばした
- ⑦ 動物がよく通る所にできます
- ⑧ 魚やイカの呼吸器官
- ⑨ 化粧をするときにのぞきます
- ⑩ イースター島の巨大な石像
- ⑪ 同伴者のこと

先月の当選者・解答

4月号のまちがい探しの答えは、「3、5、6、9、12」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。
清尾 妃那乃さん(豊川)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、**今月号は共同給油所の洗車カード3,000円分を1名の方にプレゼントします。**

読者の声

★ 毎回、旬の話題が満載で楽しみにしています。

(豊川地区・田淵 正彰さん)

★ いつも家族みんなで楽しくクイズをしています。

(共立地区・小林 輝和さん)

第3期みのりセミナー閉講

ＪＡところ（川上和則組合長）が行っている、女性農業者を対象とした「みのりセミナー」の第8回講習会と閉講式を併せてファームズハウスで行い7人が参加しました。

講習会では、スイーツ工房Shigaパティシエの江田茜さんを講師に招き、家でも簡単に出来るお菓子作りと綺麗にみせるデコレーションの仕方を学びました。

今回作ったのは「ミルクレープ」と「ベーコンポテトパイ」の2種。ミルクレープの生地の中に生クリーム・果物をパレットナイフを使用し綺麗に重ねていく工程やパイ生地の工夫の仕方に参加者から歓声があがりました。

デコレーションでは、生クリームの絞口の種類や絞り方のコツ、クッキングペーパーを使用

したプロならではの技を習った後、参加者全員で試食を行い、講習会を終了しました。

その後、閉講式を行い、修了証書授与を行った後、学長でもある当ＪＡの川上組合長より「皆さんは本講習会で、農業を一生懸命学びました。ご主人を支え、農業を支えていく若い皆さんには、これからも本町の農業発展に頑張っていたきたい」と祝辞が述べられ参加者全員で記念撮影を行い閉講式を終了しました。



第8回講習会



出来上がった料理



写真上：講師の江田茜さん
写真下：生クリームのデコレーションに皆さん夢中

閉講式



1人1人に修了証書が手渡されました



みのりセミナー閉講式に参加した皆さん

編集後記

- 春の蒔き付け作業が始まり大変お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。くれぐれも農作業事故には十分に気をつけて頂き、豊穡の秋を迎えられますことをご祈念致します。
- 誌面でご紹介の通り新しい職員も増えました。見慣れない顔もあると思いますが温かい目で見守ってください。これからも旬の話題を提供して参りますので今後とも「光と風の大地」を宜しくお願い致します。

《営農企画課：広報担当》

戌年企画 ワンだふるファミリー

山内優菜さんにおんぶされる愛犬ギンくん

今月の表紙は、岐阜地区の山内優菜さん（18）と愛犬の柴犬のギンくん（5歳）です。

ギンくんの名付け親は父の直喜さんで、家族の了承を得ずに決めたそうです（笑）。臆病な性格ですが、とても賢く優菜さんと一緒にたくさんのお芸をしている姿を見せていただきました。



これから家族のみんなに愛されるギンくんであってください。

お忙しい中、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。